

に防除困難な島中央部は場所を限って被害を放置し、短期間でおおかたの松の木を枯死させ、被害拡大が終わるように誘導するのが最善の対策と助言をいただいておりますので、町民等皆さまにはご理解いただくとともに、継続して対策に取り組んでまいります。



松くい虫防除の様子

令和5年度から政府において「こども家庭庁」が新設されます。次代の社会を担う全てのこどもが、生涯にわたる人格形成の基礎を築き、自立した個人として等しく健やかに成長することができ、こどもの心身の状況、置かれている環境等に関わらず、その権利の擁護が図られ、将来にわたって幸福な生活を送ることができる社会の実現を目指して、こども施策を総合的に推進するとしております。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、令和元年度に10万人であった入域観光客数は、令和3年度において5万4千人へと激減し、観光産業は深刻な影響を受けています。観光産業を力強く回復させるため、久米島を訪れる方にも流行に合わせた感染対策にご理解いただくとともに、1人あたりの観光消費額を増加させるなど、質の高い観光の実現に取り組みます。そして、令和5年度で計画期間が終了する第2次観光振興基本計画の次期計画



子ども達は島の宝

来を担う子ども達は島の宝であることから、妊娠・出産・子育てにおける、切れ目のない支援が可能な体制づくり、子育て・教育の更なる拡充に努めてまいります。

を策定することとしており、これからの観光振興について検討してまいります。

官民連携については、本町が保有する公共施設等に係る保守管理業務を包括的に民間に委託し、保守管理の質の向上、業務の効率化等を図ります。堆肥センターの管理についても、専門性と事業実績のある民間事業者に委託し、品質の向上及び安定供給を図るなど、一歩ずつ着実に町民サービスの向上に努めてまいります。それでは、令和5年度の各分野における施策の概要についてご説明申し上げます。

農林水産業の活性化

農業振興については、農地の確保・集積化の加速・遊休農地の解消を行うことで農地の有効活用を推進します。また、農業従事者の高齢化に伴い、担い手が減少する中で、新規就農者への支援や認定農業者の確保を図り、農業の担い手育成に取り組めます。

さとうきびの振興については、久米島さとうきび振興協議会と連携し、機械化の推進や肥培管理等に対す

る支援を行ってまいります。甘しょ及び野菜等については、農家に対して優良苗の普及や病害虫対策・次期作などの支援に努めてまいります。

花卉の振興については、各団体と連携し、生産拡大に向けた支援に努めてまいります。高付加価値の作物については、コーヒーやバナラ栽培等の戦略品目の設定や関係機関と連携して支援に努めてまいります。



久米島産のコーヒーが国際審査機関にて「スペシャルティ認証取得」

畜産振興については、引き続き、優良雌牛の増頭や共済加入の促進を図るとともに、獣医師の確保に努めてまいります。

水産業の振興については、「浜の活力再生プラン」が水産庁から承認され、久米島漁業協同組合と連携して、各事業を継続的に取り組めます。

また、ウミガメと漁業の共存を図るため、関係機関と調整しながら対策に取り組んでまいります。

世界的な穀物需要の増加やエネルギー価格の上昇により、化学肥料原料の国際価格が大幅に上昇し、肥料価格が高騰しております。このような物価高騰の影響も長期化するおそれがあるため、引き続き支援してまいります。

商工・観光産業の活性化

観光振興への取り組みについて申し上げます。令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の行動制限がなく、コロナ禍でいかに経済を回すのか、まさにウイズコロナの年でした。

昨年10月からは3年ぶりに久米島マラソンをはじめとする大型イベントが再開され、人の往来も徐々に回復の兆しが見え始めてきて